

# 水道事業業務状況説明書

〔平成30年度〕  
〔下半期〕

嬉野市

# 目 次

## 1 平成30年度事業の状況

(1) 平成30年度水道事業の経営状況	1
(2) 水道事業会計予算実施状況	1
(3) 水道事業給水状況	2
(4) 損益計算書	3
(5) 貸借対照表	4

## 2 令和元年度事業の概要

(1) 令和元年度水道事業の経営方針	5
(2) 水道事業会計予算実施計画	5
(3) 水道事業給水計画	6

# 1 平成30年度 事業 の 状 況

## (1) 平成30年度水道事業の経営状況

営業収益は昨年度に比べほぼ横ばいであった。しかし営業外収益は一般会計補助金(高料金対策等)が減少したため、昨年度に比べ17.1%程度の減となり、総収益は2.5%減少した。

費用においては、営業費用は修繕費の増加や休止施設の解体に伴う資産減耗費の増加があつたため増加した。また、営業外費用は支払利息分が減少した。収益的支出では、有収率向上のための漏水調査や、給水管切替工事及び鉛管更新工事を実施し、資本的支出では、清水浄水場耐震化事業や駅周辺区画整理事業等を実施した。

## (2) 水道事業会計予算実施状況(平成30年10月1日～平成31年3月31日)

### ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

款	項	予 定 額	執 行 額	備 考
1 水道事業収益		334,914	356,780	
	1 営業収益	272,937	268,365	水道料他
	2 営業外収益	59,077	74,578	一般会計補助金他
	3 特別利益	2,900	13,837	過年度上水道企業債長期前受金戻入等
1 水道事業費用		404,869	362,990	
	1 営業費用	380,950	348,367	維持管理費他
	2 営業外費用	18,919	14,623	企業債利息他
	3 特別損失	0	0	
	4 予備費	5,000	0	

### イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

款	項	予 定 額	執 行 額	備 考
1 資本的収入		67,922	67,447	
	1 工事負担金	18,003	17,568	水道施設移転工事補償金
	2 企業債	0	0	
	3 固定資産売却代金	1	0	固定資産売却代金
	4 他会計補助金	34,793	34,793	一般会計補助金
	5 国庫補助金	13,725	13,725	
	6 他会計負担金	1,400	1,361	消火栓設置負担金
1 資本的支出		336,922	315,849	
	1 建設改良費	291,554	270,789	水道施設整備事業他
	2 営業設備費	688	381	メーター設置等
	3 企業債償還金	44,680	44,679	企業債償還金

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額248,402千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額20,058千円及び過年度分損益勘定留保資金228,344千円で補てんした。

(3) 水道事業給水状況

(塩田地区)

区 分	当年度下半期	前年度下半期	増 減	比 較 (%)
総 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	473,939	492,950	△ 19,011	△ 4.0
一日平均給水量 (m <sup>3</sup> )	2,590	2,694	△ 104	△ 4.0
給 水 件 数 (戸)	2,917	2,880	37	1.3

(嬉野地区)

区 分	当年度下半期	前年度下半期	増 減	比 較 (%)
総 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	1,111,244	1,131,574	△ 20,330	△ 1.8
一日平均給水量 (m <sup>3</sup> )	6,072	6,183	△ 111	△ 1.8
給 水 件 数 (戸)	6,198	6,220	△ 22	△ 0.4

## (4) 損益計算書

(平成30年10月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

費 用		収 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>1 営業費用</b>	<b>334,766,290</b>	<b>1 営業収益</b>	<b>238,598,343</b>
(1) 原水及び浄水費	99,062,308	(1) 給水収益	233,842,175
(2) 配水及び給水費	56,334,553	(2) 受託工事収益	0
(3) 受託工事費	0	(3) 簡易水道収益	0
(4) 総係費	34,468,814	(4) その他営業収益	4,756,168
(5) 簡易水道費	0		
(6) 減価償却費	118,201,193	<b>2 営業外収益</b>	<b>55,551,926</b>
(7) 資産減耗費	26,399,051	(1) 受取利息及び配当金	1,345,719
(8) その他営業費用	300,371	(2) 上水道他会計補助金	18,032,000
		(3) 長期前受金戻入	23,571,108
<b>2 営業外費用</b>	<b>12,645,262</b>	(4) 簡易水道他会計補助金	0
(1) 上水支払利息	8,852,437	(5) 上水道加入金	11,360,000
(2) 簡水支払利息	1,876,344	(6) 簡易水道加入金	0
(3) 上水道その他営業外費用	1,916,481	(7) 上水道雑収益	1,243,099
(4) 簡易水道その他営業外費用	0	(8) 簡易水道雑収益	0
<b>3 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>3 特別利益</b>	<b>13,836,613</b>
1 その他特別損失	0	1 過年度上水道企業債長期前受金戻入等	13,836,613
下半期純利益	△ 39,424,670		
<b>計</b>	<b>307,986,882</b>	<b>計</b>	<b>307,986,882</b>

上半期純利益 20,078,016

## (5) 貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位:円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>1 固定資産</b>	<b>5,184,438,752</b>	<b>1 固定負債</b>	<b>934,673,705</b>
(1) 上水道有形固定資産	11,010,583,324	(1) 企 業 債	934,673,705
減価償却累計額	5,843,352,694		
(2) 簡易水道有形固定資産	0	<b>2 流動負債</b>	<b>246,899,676</b>
減価償却累計額	0	(1) 未 払 金	153,391,372
(3) 上水道無形固定資産	17,208,122	(2) そ の 他 流 動 負 債	187,430
(4) 簡易水道無形固定資産	0	(3) 企 業 債	89,844,581
		(4) 賞 与 引 当 金	3,476,293
<b>2 流動資産</b>	<b>1,423,196,320</b>	<b>3 繰延収益</b>	<b>741,292,271</b>
(1) 現 金 預 金	1,369,099,853	(1) 長 期 前 受 金	1,459,816,194
(2) 営 業 未 収 金	20,539,654	(2) 長期前受金収益化累計額	718,523,923
(3) 貸 倒 引 当 金	△ 1,189,000		
(4) 営 業 外 未 収 金	10,900,271	<b>2 資本金</b>	<b>4,067,085,388</b>
(5) その他未収金	19,143,000	(1) 自 己 資 金	4,067,085,388
(6) 有 価 証 券	0	(2) 借 入 資 本 金	0
(7) 貯 蔵 品	2,600,642		
(8) その他流動資産	2,101,900	<b>3 剰余金</b>	<b>617,684,032</b>
		(1) 資 本 剰 余 金	3,994,339
		(2) 利 益 剰 余 金	613,689,693
<b>計</b>	<b>6,607,635,072</b>	<b>計</b>	<b>6,607,635,072</b>

# 1 令和元年度 事業の概要

## (1) 令和元年度水道事業の経営方針

令和元年度の嬉野市水道事業は、前年度に引き続き、清水浄水場の耐震化事業及び嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業を実施する。

本年度は、昨年同様に引き続き、少子高齢化社会の進展や住民の節水意識の高揚及び節水型給水装置の普及により、水の需要は今後伸びないと見込まれる中、将来にわたって安全でおいしい良質な水道水の安定供給を続けるため、計画的な施設の更新・整備や滞納整理の強化などに取り組み、昨年同様に極力経費の削減を図り効率的な予算執行を行うなど健全経営に努める。

収益的支出では、漏水調査による有収率の向上、配給水管取替及び鉛管更新工事を実施する。資本的支出では、清水浄水場の耐震化事業や老朽管更新工事並びに嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業を実施する。

## (2) 水道事業会計予算実施計画

### ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

款	項	予 定 額	備 考
1 水道事業収益		627,209	
	1 営業収益	554,462	水道料他
	2 営業外収益	69,847	一般会計補助金他
	3 特別利益	2,900	
1 水道事業費用		773,042	
	1 営業費用	738,909	維持管理費他
	2 営業外費用	29,133	企業債利息他
	3 予備費	5,000	

### イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

款	項	予 定 額	備 考
1 資本的収入		22,364	
	1 工事負担金	2	水道施設移転工事補償金
	2 企業債	0	
	3 固定資産売却代金	1	
	4 他会計補助金	18,386	一般会計補助金
	5 国庫補助金	2,575	国庫補助金
	6 他会計負担金	1,400	消火栓設置負担金
1 資本的支出		363,656	
	1 建設改良費	273,065	水道施設整備事業他
	2 営業設備費	746	メーター設置等
	3 企業債償還金	89,845	企業債償還金

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額341,292千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額20,227千円、過年度分損益勘定留保資金321,065千円で補てんする。

(3) 水道事業給水計画

区 分	当年度分(計画)	前年度分(実績)	増 減	比 較 (%)
総 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	2,804,000	2,648,187	155,813	5.6
一 日 平 均 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	7,682	7,235	447	5.8
給 水 件 数 (戸)	10,030	9,916	114	1.1